

コロナに負けず、「いま」できる活動を！

ひまわりキッチン

～こども食堂の形や枠にとらわれない活動を～



敦賀市内のこども食堂を見学した福井市内在住の有志が、こどもを中心に「つながる」ための居場所を作ろうと、平成28年9月、明新地区（新田塚会館）で「ひまわりこども食堂」を開始しました。その後、平成29年6月から「ひまわりキッチン」に改称し、福井市明新公民館少年教育事業として、地区住民たちと一緒に、月1回（第2水曜日 17時～20時）開催しています。



▲大学生に無料で食品配布

しかし、令和2年3月以降は、新型コロナウイルスの影響により公民館で会食をしながらの活動は中止。地域の方々や企業・団体からいただいた食品等は、シングルマザー等を支援している他団体へ寄贈しながら、これからの活動を模索していました。5年間続けてきた活動をやめるのはもったいないと、令和3年5月、コロナ禍で仕送りが途絶えたり、バイトのシフトが減ったりして困窮している大学生を対象に湊地区で「フードパントリー（無料食品配布会）」の取り組みを始めました。

現在、ボランティアスタッフは15名。活動日には、常に7～8人が集まり、賞味期限を確認したり、食品の仕分けや袋詰めをしています。

代表の南康人さんは、「大学生が相手と思って始めたが、シングルマザーの方も来られた。本当に必要な方に届けたいので、来てくれて嬉しい」、「地域で長く活動していこうと思うと、無理はできないが、他機関や団体とコラボすることで活動の幅を広げることできるはず」と意欲を燃やしています。

HOME TOWN コスモス

～コースターづくり～



特別養護老人ホームHOME TOWNコスモス（帆谷町）では、デイサービスの利用者のお一人がコースターを手作りしています。

約20枚のチラシを1つ1つ手で折り、テープを使わずに組み合わせ、円型のコースターに仕上げています。模様がきれいになるよう、チラシの表裏も考えて作っているそうです。「『ありがとう』と喜んでもらえると嬉しいし、やりがいになる」と今後の創作にも意欲的です。

このコースターは、「オープンサロンふらっとベル」で自由にお持ち帰りできます。実際に使っている人からは、「鍋敷きや花瓶敷きにして使っている。作りがしっかりしていて、とても良い」と大好評です。コースターの他にも、利用者の方々が作成した紙のごみ箱もご自由にお持ち帰りできます。皆さんもぜひ一度手にとってみてください。

オープンサロン ふらっとベル



社会福祉士などの福祉の専門職が、暮らしに関する相談をお受けします。買い物のついでに、お友だちとのおしゃべりに、ちょっとした心配ごとの相談などお気軽にお立ち寄りください。

<開催日> 火から木曜日 13時から16時

<場所> ショッピングシティ・ベル（花堂南2丁目16-1）

<飲み物> 協力金100円以上をお願いします。

<お問い合わせ> 市社協 地域福祉課 TEL 26-1853